

講義名	デザイン論			授業形態	
担当教員	荻野 祥太	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生
主題と概要					
デザイン思考とは、デザインに用いられる手法やものの見方をビジネスに取り入れた考え方で、現代では、消費者のニーズの変化が非常に速く、消費者の悩みや課題を解決するにあたって新しい考え方が必要となっており、このデザイン思考が重要視されています。本講義では、グループディスカッションを行いながらデザイン思考を用いた課題解決能力を身につけていきます。					
到達目標					
(1)デザイン思考の基本的な考え方を理解する。 (2)デザイン思考を活用して課題の解決を図ることができる。					
提出課題					
グループワークにて作成した発表用資料					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
発表について、都度フィードバックを行います。					
評価の基準					
グループに対する貢献や内容による評価：100%					
履修にあたっての注意・助言他					
積極的にグループワークへ参加しない場合は単位取得が不可であること、講義時間以外にもプレゼン準備のための作業時間が必要となる場合があることを理解したうえで受講してください。グループワーク中心の講義のため、欠席は大きく減点となります。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.なし。					

その他	
授業計画	
1. ガイダンス/デザイン思考の概念 2. デザイン思考の概念 -----課題----- 3. 課題の提示と解釈 4. 現状分析 5. 課題の検討 6. 中間報告 7. 解決策の再考 8. 最終プレゼン -----課題----- 9. 課題の提示と解釈 10. 現状分析 11. 課題の検討 12. 中間報告 13. 解決策の再考 14. 最終プレゼン -----課題----- 15. 総まとめ	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
講義・ディスカッションの振り返り：1.5時間×15回 課題の検討：2時間×15回 プレゼン準備：4時間×2回 合計 60.5時間	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
本講義は本学のディプロマ・ポリシーにおける以下の能力の向上に寄与する ・現象や事実のなかに思っている問題点やその要因を見出し、解決すべき課題を設定することができる ・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や段取りを明らかにした上で、具体化することができる	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
実務経験の有無及び活用	
実務経験あり（当科目には関連なし）	
備考	